

「きらりん長町」 長町を元気にしよう！プロジェクト

I ♥ 長町

太白区中央市民センター

ながまち

1 事業概要

長町地区は昔からの商店街や住宅、近年開発された商業施設と高層マンションなどの街並みが混在しています。ここ数年仙台市内で最も変化している地域であり、交通利便性の高さから「住みたい街」として大変人気がある一方、住民の流入が多く、地域内の交流も希薄になっています。また、街の賑わいも駅周辺に集中しており、逆に衰退化している地域もあります。

市民企画「きらりん長町」は2018年から長町地区の地域活性化のために市民が企画・運営し、地域の繋がりを創生することを目的として、企画員と地域の町内会や商店街が連携し、長町全体を元気にするような事業を展開しています。



2 今年度の活動

今年度は長町の顔とも言える商店街にスポットを当てました。

地域でボランティア活動をしている東北工業大学環境サークルたんぽぽのメンバーが企画員となり、「長町を元気にしよう！プロジェクト」として、長町商店街のマップを作成することにしました。

7月31日に長町商店街を訪問取材し、インタビューには仙台南高校の放送部の方にもご協力いただきました。訪問したお店はいずれも長年ご商売をされ、地域の方々に愛されているお店です。店主の皆さんには日頃の



ご苦労や楽しさなど、いろいろお話をさせていただきました。インタビューの内容は、エフエムたいはくでも放送されました。

企画員はフィールドワークを通して得た情報を持ち帰り、長町商店街のマップ制作にとりかかりました。商店街の魅力が伝えられるよう、お店の紹介文を書いたり、写真のレイアウトなどを工夫したりしながら、制作に取り組みました。完成したマップは10月23日のながまち交流フェスタの中で展示し、地域の方々に情報発信しました。



3 成果と課題

今年度は企画員として大学生が参加し、若者の視点を取り入れた事業となりました。大学生が自らの足で長町商店街を取材し、単なるアクセスマップでないストーリー性のあるマップを作成することで、地域の良さや課題などを再発見することができました。このフィールドワークを通して、商店街の方々との交流も生まれましたが、商店街を継続的に盛り上げていくようなアイデアの必要性を感じました。

4 今後の展望

この2年位、新型コロナウイルス感染症の影響で地域の行事やイベントが中止となり、閉塞感がある状況をふまえて、引き続き長町の魅力や特色を生かした地域密着型の企画を行い、企画員のみならず地域住民と一緒に参加し、地域全体を元気にするような事業を考えていきたいと思ひます。